

# 東京ガスグループの サステナビリティ はわかり

東京ガスグループのバリューチェーンにおけるSDGsの取り組み

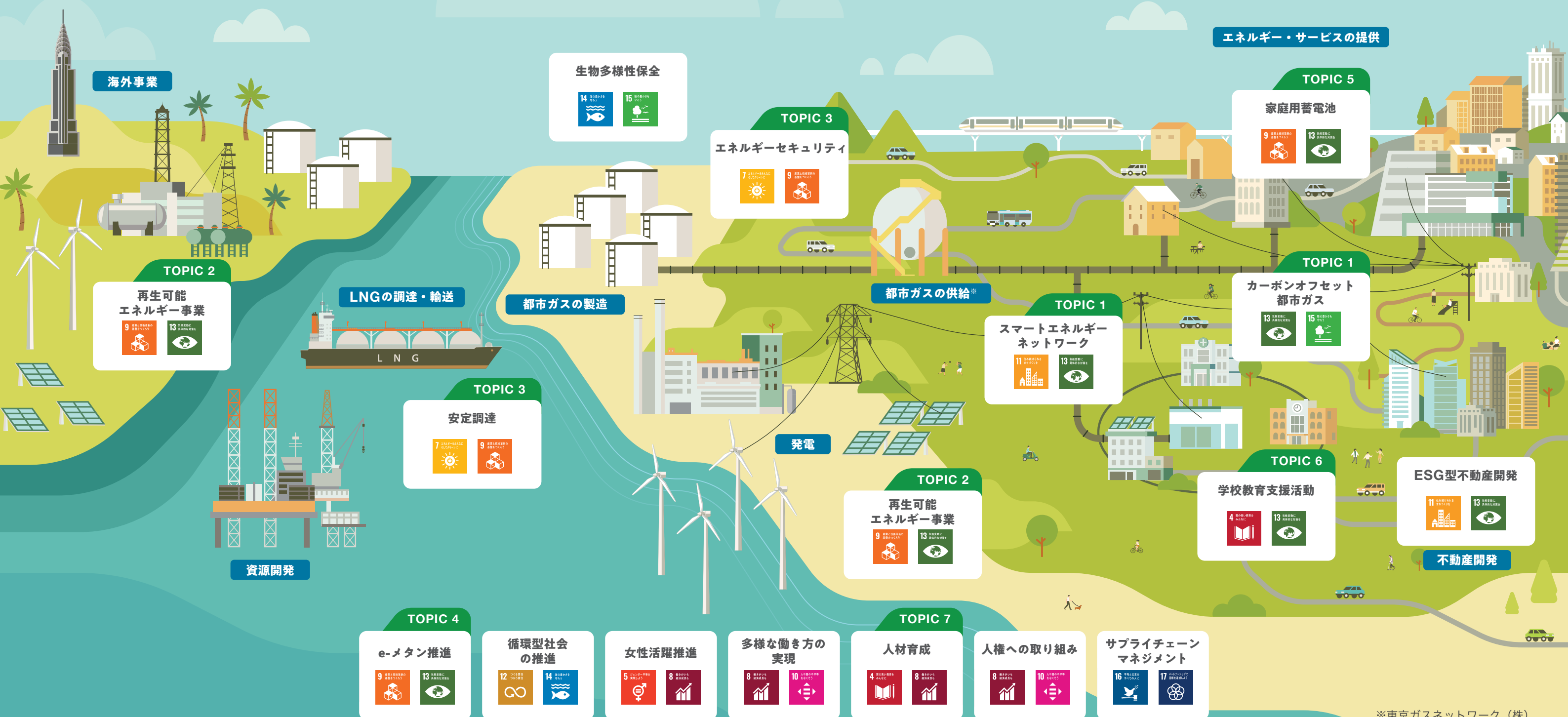
## 持続可能な社会の実現に向けて

東京ガスグループは、グループ経営理念「人によりそい、社会をささえ、未来をつむぐエネルギーになる。」を体現していくため、サステナビリティ上の重要課題を特定し、事業活動を通じて取り組んでいきます。これにより、社会的価値・経済的価値を両立して創出するとともに、持続可能な社会の実現およびSDGsの達成に貢献していきます。

### サステナビリティ上の重要課題

- |                           |                    |                       |                         |
|---------------------------|--------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1 脱炭素社会への責任あるトランジション      | 2 地球環境の保全          | 3 エネルギーの安定供給          | 4 安全と防災の徹底・安心なまちづくりへの貢献 |
| 5 ウェルビーイングな暮らしとコミュニティへの貢献 | 6 多様な人材が活躍できる組織の実現 | 7 サプライチェーン全体における人権の尊重 |                         |

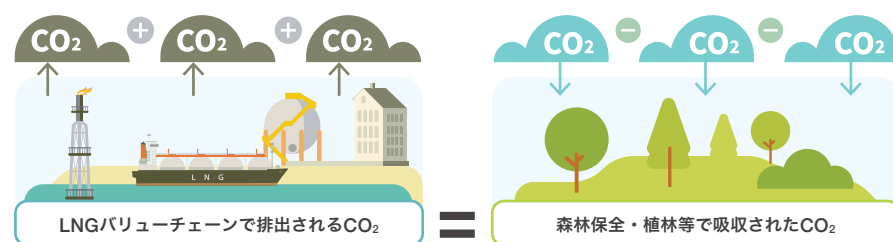
### 東京ガスグループの創出する社会的価値



TOPIC 1

## 天然ガスの高度利用

石炭・石油等から天然ガスへの燃料転換、高効率機器の導入、スマートエネルギーネットワークの高度化等に加え、カーボンオフセット都市ガスの普及も進めています。カーボンオフセット都市ガスは「LNGによるCO<sub>2</sub>排出」を「新興国等の環境保全プロジェクトでのCO<sub>2</sub>削減」で相殺した、実質CO<sub>2</sub>排出量ゼロのガス体エネルギーです。環境保全プロジェクトは現地での雇用創出や生物多様性保全にも貢献します。このように、低・脱炭素化の社会的コスト抑制をはじめ、多様な価値を創出しながらCO<sub>2</sub>ネット・ゼロへの移行をリードしています。



地球規模では実質CO<sub>2</sub>排出量ゼロのカーボンオフセット都市ガス



TOPIC 2

## 再生可能エネルギー事業

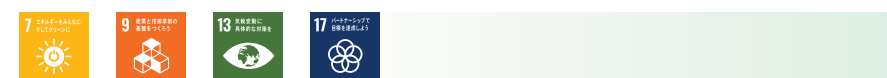
2030年の再生可能エネルギー電源取扱い目標を600万kWとしています。国内・海外において太陽光、風力、バイオマス等の電源開発を行い、2024年3月末には約134.2万kWの取扱いとなりました。再生可能エネルギー電源の中でも、とりわけ遠浅な海域の少ない日本において導入ポテンシャルの大きい浮体式洋上風力は、2050年カーボンニュートラル実現のために必要不可欠な電源として、国内外にて各種取り組みを行っています。



アクティナ太陽光発電事業



洋上風力発電向け浮体基礎システム



TOPIC 3

## エネルギーセキュリティ

首都圏を中心に日本のエネルギー供給の一翼を担ってきた企業として、S+3E、すなわち安全、エネルギーの安定供給、経済効率性、環境への適合を事業の根拠と考えています。安定的に安価で柔軟性のあるLNG調達に努める他、インフラの強靱化や、分散型エネルギーシステムの拡大等にも取り組んでいます。さらに、地震や風水害等の災害に対しても過去の経験等を踏まえ、より万全な対策を進化させてきました。今後も「決してエネルギーを止めてはならない」という使命感のもと、お客さまの安心・安全を支え続けています。



LNG基地



LNG船

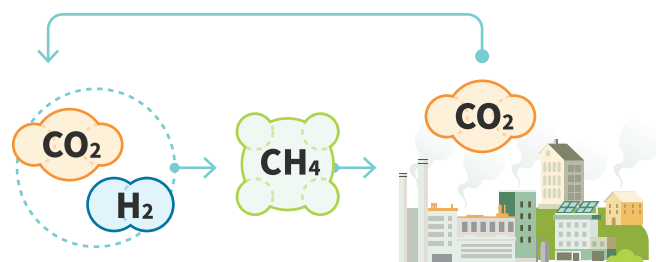


TOPIC 4

## e-メタン推進

e-メタンとは、クリーンな水素とCO<sub>2</sub>で合成されたメタン（メタンは都市ガスの主成分）のこと。発電所等から排出されるCO<sub>2</sub>を回収・活用して作るので、CO<sub>2</sub>を増加させずに使用することが出来ます。また、都市ガスの既存設備をそのまま使えるので、輸送時や使用時に必要となる設備の追加コストも抑えることができます。

当社グループでは、2030年度の日本国内への導入を目指し、地域と連携した地産地消の実証試験や、大規模な海外サプライチェーン構築に取り組んでいます。



カーボンニュートラルなe-メタン



TOPIC 5

## 家庭用蓄電池

発電量が不安定な再生可能エネルギーの普及に向けては、電力需給バランス調整の取り組みが求められます。東京ガスでは、ご家庭向けにデマンドレスポンス制御機能付き蓄電池を提供しています。これは東京ガスが蓄電池の充放電を遠隔制御し、電力の需給バランスを調整するものです。蓄電池の遠隔制御により、停電時の備えや電気代削減など蓄電池本来の価値に加え、電力供給の安定化や再生可能エネルギーの普及拡大に貢献し、お客さまと社会の双方に価値を提供しています。



遠隔制御の例



TOPIC 6

## 学校教育支援活動

20年以上にわたり学校教育支援活動に取り組んでいます。社員による、エネルギーや環境に関する出前授業を実施する他、Webサイトには講義内容の動画も掲載し、2023年度の受講児童生徒数は14,366人となりました。また先生方を対象とした教員向け研修会も実施し、学習プランに活用できる情報を、施設見学やグループワークを通じて提供することで、未来を担う子どもたちにエネルギーと環境の大切さを伝えていきます。



Webサイト「おどろき！なるほど！ガスワールド」



TOPIC 7

## 人材育成

人材育成のための異動・ローテーションや上司部下での1on1ミーティングに加え、若手育成、マネジメント力養成等の研修を全社で実施しています。近年は特に、挑戦する社員への機会提供を強化しています。またDX人材育成も推進しており、講演会やeラーニングに加え、AIやプログラミング、データ分析等のテーマから選択できる実践型の研修を設けています。2024年3月末時点でのDX人材数は2,005名となりました。



DX人材育成に関する打ち合わせ

